

推しの子たち1



前期が今日で終了しました。終業式では、二・四・六年生の各学級代表が自分を振り返り、できるようなったこと、頑張ったこと、これから頑張ることなどを立派に発表しました。皆緊張していて、ドキドキしながらの発表だったと思います。約九〇〇人の前で話すことは、大人の世界でもほとんど無いことです。一三名の子どもたちが、代表を引き受けて、自分を振り返りながら話すことを考え、発表の練習をして（原稿を暗記したりもして）、発表の場である九〇〇人の前に座っただけで、もう十分なのです。見ている側の子どもたちは前に座っている友だちの気持ちやどれだけ想像できたでしょうか。そうした相手の気持ちをくみ取れる子どもに育って欲しいと思います。ながら、話をしました。

今日は、通知表が配付されます。通知表の所見欄は、担任の思いが出る部分です。私は、自分が小二の時の所見を、いまだに覚えていいます。そこには、「無類ののんびりや」と書かれていました。これは、他に比べる人もないぐらいののんびりやさんであるナンバーワンののんびりやだということです。当時はよく意味が分からなかったのですが、今思えばなかなかパンチの効いた所見です。ちなみに両親は、笑っていました。これが、率直に辛辣なことも書かれた時代、昭和です。文章量も短いものでした。中三の三学期の所見は「卒業おめでとう」のゴム印だけでした。

さて、時代は三十年間の平成を経て、令和です。学校と保護者の関係や、学校や教師の社会からの見方も少しずつ変化し、昭和のようになくなってきました。また、子どもを励ますという通知表の目的の一つが、よりクローズアップされ、とにかく良い点をしっかり書くようになりました。同時に文章量も増えていきました。本校の今学期の所見で一番文章量が多いのは、約三〇〇字ありました。近年の働き方改革の中では、通知表の必要性についても議論がなされ、廃止した自治体もあります。（法規上、通知表の作成は任意なのです）

今日配付された通知表には、子どもたちの良いところが各担任によって精一杯書かれていました。西南小にはこんなにはすばらしい子たちがいることを自慢したくなりました。西南小の推しの子たちです。そこで、特にいいなと思った部分を抜粋しました。お時間がありませんたら、読んでいただけたらと思います。



ともかく、無事に前期を終えることができました。本校教育活動へのご理解とご協力ありがとうございました。来週からの後期も職員一同精一杯努力してまいります。保護者の皆さまと共に、子どもたちの成長を喜び合えたらと思っています。

「だれかのためにいっしょけんめい」

- そうじにも汗びっしょりになってがんばりました。
- そうじでは担当になった場所を、汗いっぱいになってきれいにしていました。
- どの教科でも積極的に自分の考えを発表し、クラスの友だちが知らないことも教えてくれるので、学級全体の知識力も高めてくれたと思います。
- 周りの様子をよく見ていて、お盆ふきを進んで何度も絞ってくられる姿に、学校のために働こうという〇〇さんの気持ちが見えました。
- 周りの様子をよく見て気づき、休みの友だちのプリントをきれいに机の中に入れてくれたり、困っている友だちのところへすぐ行き、声をかけたりしてくれました。
- 教室に落ちていたゴミをさりげなく拾ったり、書写や図工で教室が汚れたとき、真っ先に気づいて掃除をするのは〇〇さんです。
- 自分のためにしっかり学習し、みんなのために働く姿が立派でした。
- 「先生、お手伝いしましょうか」と言って、自ら進んで給食当番の手伝いをしてくれることが多く、嬉しく思っています。
- 掃除時間には、担当の場所をきれいにした後も「まだできることはないか」と更に工夫しながら活動することができました。
- はつらつとした笑顔で、友だちに関わることができました。
- いつも楽しい話題で、周りの友だちを笑顔にしていました。
- 鬼ごっこで6年生がゆっくり走って捕まってくれたことで、6年生から優しさを学び、クラスの友だちにも優しく接することができるようになりました。
- 入学してすぐから周りの友だちに声をかけて仲良くなることができました。〇〇さんの明るさや積極性に助けられた友だちも多かったと思います。（二枚目へ）



推しの子たち2



- とても面倒見が良く、自分のことを後回しにして友だちのことを手伝おうとするほどでした。
- 毎朝の爽やかなあいさつは、周りの人たちを元気にしてくれました。
- 学級での話し合いの時など、司会進行をしたり、発言することが苦手な人にそっと寄り添ってくれました。
- 下級生への気遣いも素晴らしく、勉強を教えたり、困っているときに優しく声をかけたりしてくれて、みんなから頼りにされていきました。
- 友だちのがんばりに気づき、自分のことのように喜ぶ〇〇さんに元気づけられた友だちがたくさんいます。
- 登校時の班長として、毎朝登校する姿に、高学年としての責任を果たそうとする気持ちが感じられました。
- 何も言わずに当たり前のように友だちの手助けをする姿を何度目にし、とても感心しています。
- 常に相手が喜ぶことを考えて行動している姿は立派です。
- 休み時間や歓迎遠足など、自分が担当する1年生だけでなく、いろんな1年生に声をかけたり遊んだり、優しく面倒を見る高学年らしい姿が印象的でした。

「じぶんのためにいっしょうけんめい」

- 自分でチャレンジする気持ちをもちがなばっている姿が立派でした。
- 友達に対して、おかしきことはおかしきと言える正義感の強さをもっています。
- 友だちの言動に納得がいかないときには、「静かにして」「それはだめでしょ」ときちんと注意できる勇氣と行動力を持っています。
- どの教科でも積極的に自分の考えを発表し、クラスの友だちが知らないことも教えてくれるので、学級全体の知識力も高めてくれたと思います。
- 人が見ていないところでもスリッパを並べるなど、自分から良いことを進んで行うことができました。
- 何事にも妥協せず丁寧に取り組む〇〇さん。算数では、分からない問題をそのままにせず、質問をしながらわかるまであきらめずに問題を解く姿が印象的です。



- 配膳台が汚れていると台拭きできれいにするなど、よいと思うことを自分から進んで取り組みました。
- 間違えた問題を粘り強く何度も解き直す姿から、諦めない心の強さを感じます。
- 毎朝明るく元気な挨拶で一日をスタートしていました。気持ちの良い挨拶で、教室がパツと明るくなり、みんなが清々しい気持ちになりました。
- 「先生、分かりません」と言い、できるようにならうと頑張る姿が多く見られ嬉しく思いました。
- デジタルドリルや自主学習を通し、自分に必要な学習は何かを考え、コツコツと学習を進め、定着させることができました。
- 努力して心配なことを克服していく力は、〇〇さんをどんどん成長させていっています。
- 思うように行かず落ち込むことがあっても、言葉で表現することで、気持ちを切り替えることができ、すっきりした笑顔になります。
- 新しい環境の中でも、自分から友だちに積極的に関わり、楽しく学校生活を送っています。
- 初めてのことに前向きにチャレンジする姿は、クラス全体を元気にしてくれました。
- 「発表することが苦手」と言いながらも、拳手をして挑戦する姿が見られ、苦手なことにも向き合う〇〇さんの強さを感じました。
- 正しいことを正しいと落ち着いた態度で言える公正な心が育っています。
- 正しい姿勢で学習に取り組む、よく考えて意欲的に発表したり話す人の方を見てしっかり話を聞いたりする姿は、何度もクラスのお手本となりました。
- 失敗を恐れずチャレンジしていく姿勢をこれからも大切にして欲しいです。
- (組み体操で)土台になることが多く、大変そうでしたが、練習の時から歯を食いしばって頑張る姿が見られました。
- 分からないところがあつたときは、素直にたずねたり、休み時間になつても分かるまで諦めずに練習問題を解いたりしていました。

